



スピーチコンテストの審査員になるくらいの方々でさえ、そのあたりを理解できていません。ましてや純粋無垢な日本企業の場合には、全くそんな配慮が必要だということも知りません。

受け入れる企業側の日本人は、高度外国人財(globalforce)との接し方を知ることが、成功の鍵となります。そのためには、教育であったり、社内体制を整えることが大切です。異文化育ちの彼らの力を引き出すためには、準備が重要だということです。

たとえば各マネージャーは、留学生を部下に迎える場合

1) ゆっくり簡単に要点を伝える習慣を持つ

2) 相手にリピートさせる習慣を持つ

が必要です。

さらに仕事の内容を精査し、彼らが完璧に他の日本人と一緒に仕事ができるようになるまで、多少日本語が下手でもできる仕事を準備することも必要でしょう。

当研究所としていろいろとやらなくてはいけないことを考えさせられたスピーチコンテストでした。

┌

| 2 | 勉強会・セミナー等のご案内 [事前申し込み要]

└

(1) 企業・学校関係の皆さま向け

年 4 回開催しております【globalforce circle 勉強会】は、

下記のスケジュールで開催する予定です。こちらもお待ちしています！

次回の予定は、先日行いました■経営課題解決セミナー■で、多くの皆さまが興味を持たれた、Yoda 英語に関連して、『俺のイングリッシュ』と題してセミナー(勉強会)を開催する予定です。

帰るときには必ず話せるようにしますので、楽しみにしてご参加お申込み下さい。(まだ受付サイトができていないので、contact@globalforce.link へご連絡下さい。)

2017 年 5 月 18 日(木) 14:00-16:00

2017 年 7 月 20 日(木) 14:00-16:00

2017 年 11 月 16 日(木) 14:00-16:00

場所: 星陵会館(東京都千代田区永田町2丁目16-2)

<http://www.seiryokai.org/kaikan/map.html>

(2) 2017年ワークショップ型ジョブフェアROMA



- 
- \*\*\*\* 異文化コミュニケーション研究所(R) \*\*\*\*
  - ~ 日本を世界中の優秀な人財が活躍する国にする ~
  - 
  - 企業の生き残り・革新のために、『人財の多様性』は不可欠です。
  - 
  - 弊社は、白羽の矢を立てるべきは「外国人留学生」だと考えます。
  - 日本語が使える、日本文化に造詣がある「優秀な留学生」が日本には
  - たくさんいます。そして、彼らは日本で働きたいと思っています。
  - 
  - 多様な異文化視点を持つ globalforce(高度外国人財)を活用する
  - ことで、「新たな価値の創造」につなげることができます。
  - ”globalforce”は企業にとって貴重な人財です。
  - 
  - しかし、多様性を受け入れることはチャレンジングなことです。
  - 一筋縄ではいかない。障害物競走のように、いくつもハードルを超
  - えて行かなければなりません。当研究所は、採用から活用に至るまで
  - 企業のチャレンジをお手伝い致します。

---

」」」」 異文化コミュニケーション研究所(R) (iCCC)

」」」」 <http://www.globalforce.link>

」」」 横浜市神奈川区青木町 3-15 SSビル 201号室

」」 Tel:045-307-8248(代) FAX:045-461-1577

」 代表取締役社長 所長 島崎ふみひこ

---

(当研究所は、株式会社フィギュアネットの事業部です。)